

事業番号	08 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光戦略推進事業	部局	観光部	課・室	山岳高原観光課			
		実施期間	S24～	E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	④観光消費額							
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり							

### 1 現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪の必然性の高いコンテンツの開発等による「稼ぐ」観光地域づくりが必要</li> <li>・コロナによる社会情勢の変化等を踏まえ、新たな生活様式に適應したAfterコロナを見据えた観光業への支援が必要</li> </ul>
---

### 2 事業目的

各地域や観光関係者が共有する長野県の独自の価値を、広域的、持続的に展開する推進体制を構築することにより、そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられる世界水準の山岳高原リゾートを確立する。
--

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

<p><b>①県独自のファンコミュニティの形成などマーケティング基盤等の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急速に変化する観光情勢を捉えたマーケティングに基づく観光施策を展開するため、コアな信州ファンの属性に応じた情報提供やアンケートを行える機能（ファンコミュニティ）を消費者データプラットフォームに拡充し、地域におけるマーケティング体制等の構築を支援。</li> </ul> <p><b>②HAKUBAVALLEYへの重点支援を通じたスタートアップ体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点支援の総仕上げとして、（一社）HAKUBAVALLEY TOURISMをコントロールタワーとした「通年での「稼ぐ」仕組みの構築」を支援。</li> </ul>
---

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	来訪者満足度	%	27	24	↘	27	↗	25	達成	長野県観光戦略2018における主要指標であり、戦略最終年度である2022年に来訪エリアの総合満足度「大変満足」の割合を25%とすることを目標としているため。	
②	延べ宿泊者数(暦年)	万人	1,124	1,084	↘	1,417	↗	2,175	未達成	長野県観光戦略2018における主要指標であり、戦略最終年度である2022年に2,175万人とすることを目標としているため。	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	61,050	137,294	0	198,344	133,370	151,703	6.8
R3年度	0	152,962	2,258,099	2,411,061	140,212	2,367,920	7.8
R2年度	0	136,129	36,681	172,810	112,460	128,698	6.3

事業番号	08 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光戦略推進事業		部局	観光部	課・室	山岳高原観光課

## 6 主な取組実績と成果

### ① 県独自のファンコミュニティの形成などマーケティング基盤等の機能強化

本県のコアなファンを囲い込み、効果的な意見聴取や情報発信を目的としたコミュニティサイト「ながのファンコミュニティ」を令和4年10月に立ち上げ、タイムリーな観光情報の発信や今後のマーケティングに資する会員へのアンケートを実施した。（観光情報発信31回、アンケート調査9回）

### ② HAKUBAVALLEYへの重点支援を通じたスタートアップ体制の確立

・令和元年度に指定した重点支援広域型DMO（一社）HAKUBAVALLEY TOURISMを中心としたHAKUBAVALLEYエリア（大田市・白馬村・小谷村）に対し、ハード・ソフト両面から重点的に支援し、観光産業振興とブランド力向上に取り組んだ。

#### 【主な支援実績】

・「HAKUBAVALLEY八景(※)」PRのためのフォトコンテストやWEB・SNSでの発信、当該景観を活用したFAMトリップ開催(観光庁補助活用)等によるエリア周遊コンテンツ強化

※エリア内周遊コンテンツとしてR3年度に「風水八景」「塩の道八景」「山水八景」それぞれ選定した計24か所の景観

・R3年～5にかけてHVTエリア10スキー場に共通したゲレンデ安全標識の整備

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	来訪者満足度	R3年度推移	▼	R4年度推移	▲	達成状況	達成
<p>コロナ禍を契機としたアウトドア志向の高まりに伴い、本県の自然環境を活かしたアクティビティコンテンツが充実したことや、宿泊施設における受入環境の整備が令和3年度に実施した施設改修補助金事業等により促進され、満足度が上昇したことが主な要因と考えられる。</p> <p>また、信州割SPECIALなど各種割引施策を実施してきたことによる価格に対する満足度向上や、コロナによる旅行行動制限の緩和による満足感を上昇も要因と考えられる。</p>							
指標②	延べ宿泊者数(暦年)	R3年度推移	▼	R4年度推移	▲	達成状況	未達成
<p>新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込んだ観光需要は、国の全国旅行支援事業開始や水際対策の緩和による海外個人旅行の解禁などにより一定の回復は見られたが、いずれも10月以降の実施だったことなどからコロナ前までの回復には至らず、目標値を下回った。</p>							

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・全国旅行支援などの需要喚起策が終了する中、Afterコロナにおいて本県が国内外を問わず選ばれる観光地となるため、高付加価値化を推し進め、より一層「長期滞在観光の推進」「信州リピーターの獲得」を核とした持続可能な観光地域の運営が求められる。

・HAKUBAVALLEYへの支援をはじめとした観光地域づくり法人（DMO）の形成支援の取組結果を踏まえ、持続可能な観光地域づくりに取り組む意欲・ポテンシャルのあるDMO等に対し、引き続き観光地域づくりの取組を支援する必要がある。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

・Afterコロナにおける世界の観光の潮流である「サステナブルツーリズム」を本県でも推進するため、持続可能な観光地の認証制度であるGSTC取得のための支援事業を実施し、県内の意欲・ポテンシャルのある地域を支援。

・戦略的な観光地域づくりを進めるため、県内観光地の調査を行い、各地がターゲットとすべき客層や地域特性・現状に関するポジショニングを分析するとともに、地域の推進体制を強化するため、DMOの経営課題解決や人材育成を支援するコンサルティング等を実施。

事業名	観光戦略推進事業	部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
-----	----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	観光地域づくり推進事業	56,767 千円	62,661 千円	80,671 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	観光振興方針に沿った地域づくりの支援	負担金 補助金	地域の特色ある観光地域づくりを推進するため、通年での「稼ぐ」仕組みの構築など HAKUBAVALLEYへの重点支援（最終年度）や、観光振興方針（長期滞在型観光と信州リピーター獲得）の推進に向けたマーケティングなど観光地域づくりの取組を支援 重点支援事業（12事業 17,835千円）等を通じて、観光地域づくりの取組を支援	
2	マーケティング基盤等の機能強化	負担金	コアな信州ファンに属性に合わせた情報提供やアンケートを行える機能を消費者データプラットフォームに拡充し、QRコードやWEBを活用したアンケートなどのマーケティング調査を実施 ファンコミュニティ構築(登録者数1,430人)、オンライン座談会開催(中華圏5名,英語圏5名参加)	
3	信州の観光地魅力向上実践事業	補助金	長期滞在型観光の推進・信州リピーターの獲得の具現化を図り、地域独自のブランド力向上のため、県が推進する特色ある観光テーマを活かした観光地域づくりの実践を支援 13地域(支援総額22,233千円)に伴走支援して、実践事業を構築	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	観光情報発信事業	58,852 千円	59,414 千円	62,177 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県外観光情報センター観光宣伝業務負担金	負担金	名古屋、大阪観光情報センターにおける各種メディアを活用した情報発信、観光情報の収集、情報提供等の実施を支援 令和4年度 来訪者人数：延べ35,310人 メディア等への営業訪問件数：150件	
2	県観光機構負担金	負担金	(一社)長野県観光機構に対し会費を支出 (一社)長野県観光機構に対し会費を支出	
3	県公式観光サイト管理運営業務負担金	負担金	県公式観光情報サイトの管理・運営を支援 サイト閲覧数400万回以上、Instagramフォロワー数11万件以上(国内自治体計SNS上位)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	観光振興指導調査費	6,968 千円	8,212 千円	7,564 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県観光振興審議会等の開催・運営	直接	長野県観光振興審議会及び長野県観光戦略推進本部会議の開催 審議会(12/19)、戦略本部(9/20,3/27)を開催	
2	各種統計調査	直接	観光地利用者統計調査・スキー、スケート場利用者統計調査・学習旅行実態調査、外国人延宿泊者数調査の実施 上記調査を実施し、結果を公表	
3	観光地点パラメータ調査	委託	観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光地点パラメータ調査の実施 年4回、12地点で観光客へのアンケート調査等を実施	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	観光客安全対策推進事業		6,111 千円	2,237,633 千円	1,291 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地区観光客安全対策組織への交付金	負担金	長野県観光客安全対策会議に負担金を支出し、スキー場安全パトロール講習費用を支援 長野県索道事業者協議会が開催したスキー場パトロール講習会(2回)に対する費用を支援(567千円)		